

## 日南町で台湾とドイツとの国際交流

8月には台湾の林業会社「虎山林業」（宜蘭市）ら8名が林業アカデミーを視察に来られました。台湾では長い間禁伐が続く、近年林業が再開されましたが、現在国産材率は1%、従事者は約70名で再興の途上にあります。歴史的に日本領であった時期には、多くの大径材が台湾から日本本土に運ばれ、東大寺や靖国神社などに使用されました。

訪問の目的は、台湾に適した林業システムと林業学校の設立に向けた準備としての視察でした。台湾の山は急峻で林業の災害リスクが高いため、できる限り機械化することをアドバイスしました。今後も台湾の林業・林業学校の発展に協力していきます。

9月には、ドイツ・バイエルン州有林の経営管責任者であるマークス・シャラー博士が来町されました。シャラー博士は、島根大学の伊藤勝久先生の旧友であり、林業アカデミーと日南町の森林資源の地域循環に興味を持たれて訪問されました。木材団地など、苗木生産からLVL製造まで視察し、「森林資源の地域循環についてとても勉強になった」と感心されていました。通訳は、国際交流員エラさんにして頂きました。

林業アカデミーでは学生と交流し、こども園からの森林教育を含め、日南町の林業人材育成の充実ぶりに驚かれました。中村町長との面談では、バイエルン州の森林局と今後教育・技術面などで協力していくことになりました。



【林業アカデミーHPアドレス】 <https://nichinan-ipc.or.jp/forestry/>

問 にちなん中国山地林業アカデミー TEL 8410070

## 日野高ニュース

### 日野高ショップ根雨

「総合実践」の授業の一環として、毎回好評の日野高ショップ根雨店を日野町山村開発センターにて開催いたしました。

日野高ショップとは、アグリライフ（農業）系列の生徒が育てた野菜、加工したケチャップ・ジャム・味噌を商品として、情報ビジネス（商業）系列の生徒が販売実習を行うことです。

第1回を7月6日、第2回を8月10日に行い、地域のみなさまのおかげで大盛況でした。

第3回以降は日野町外(日吉津・米子)で開催する予定です。

